

事務事業名	交付金活用通学路道路施設整備事業		所属部	建設部	所属課	建設工務課	
総合計画体系	政策名	〈Ⅱ〉安全・安心で快適なまち〈定住環境〉		所属G	公共土木G		
	施策名	〈12〉道路の整備		担当者名	今岡 亮		
	目的・対象	市民	意図	市内及び市外へ安全で便利に移動できる。			
	基本事業	〈035〉道路の維持管理		電話番号	0854-40-1063 (内線) 2473		
目的・対象	道路利用者	意図	安全に移動できる。			予 算 科 目	会計 0:1400:2 款 目 1:0101:4 大 事 業 名 道路施設管理事業 中 事 業 名 交付金活用通学路道路整備事業

1 現状把握【DO】

(1) 事務事業の概要

① 対象(誰、何を対象にしているのか)	② 意図(対象がどのような状態になるのか)
道路利用者	市内を安全で迅速に移動できるようにする。
③ 事業内容(期間限定複数年度事業は全体像を記述)	
事業期間 <input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (H29 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度)	・雲南市通学路交通安全プログラムに基づき、計画的な整備及び修繕等を実施する。
④ 主な活動	⑤ これまでの改革・改善経緯
R4年度実績(R4年度に行った主な活動)	(この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)
<ul style="list-style-type: none"> ・市道新市線・新市中線測量・設計業務(R3繰越) ・市道新市線・新市中線歩道整備工事(R3繰越) ・市道宮西線・役場前線設計業務 ・市道宮西線歩道整備工事(1工区) (R3繰越) ・市道宮西線歩道整備工事(2工区) 	・平成26年から雲南市通学路安全推進会議を設置し、関係部署から危険箇所の抽出を行い、毎年ローリングを行い、雲南市通学路交通安全プログラムに掲載し、緊急性の高い箇所から計画的に事業を実施している。

(2) 事務事業の指標

成果指標	単位	R2年度(実績)	R3年度(実績)	R4年度(実績)	R5年度(計画)
ア 生活道路が安全で便利だと感じている市民の割合	%	65.2	63.9	66.8	66.8
イ 生活道路で危ない場所があると感じている市民の割合	%	65.7	68.4	66.5	66.5
ウ					
エ					

(3) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (R4年度決算)	② コストの推移		単位	R2年度(決算)	R3年度(決算)	R4年度(決算)	R5年度(計画)
R3繰越	財源内訳	国庫支出金	千円	25,080	11,070	13,896	21,272
【委託料】新市線新市中線設計業務 3,356千円		県支出金	千円				
【工事費】新市線新市中線歩道整備工事 7,565千円、宮西線歩道整備工事(1工区) 5,041千円		地方債	千円	14,700	6,300	8,100	12,300
R4		その他	千円				
【委託料】宮西線役場前線設計業務 641千円		一般財源	千円	914	486	514	1,083
【工事費】宮西線歩道整備工事(2工区) 5,907千円	事業費計	千円	40,694	17,856	22,510	34,655	
【地方債】合併特例債							

2 事後評価【SEE】

① 事業実績における成果	・雲南市通学路交通安全プログラムに基づき、2路線の歩道整備工事を実施し通学路の安全が確保できた。
② 事業実施するうえでの課題	・毎年学校からの要望や地域、警察、市の合同点検による危険箇所の抽出により、通学路の交通安全対策に関する要望箇所が多数あげられ、対策実施が追いつかない状況である。
③ 課題解決に向けた改革改善等	・多数ある対策実施について対策を計画的かつ効率的に実施するため、雲南市通学路交通安全プログラムに基づき、緊急性の高い箇所から事業実施するとともに、防災・安全社会資本整備交付金を活用し、財源を確保しながら事業を継続していく。